

『腎臓病薬物療法専門・認定薬剤師テキスト』 訂正のお知らせ

ご購入いただきました、「腎臓病薬物療法専門・認定薬剤師テキスト」(平成25年5月発行)の付録518ページにおきまして、以下の誤りがございました。ここに訂正いたしますとともに、深くお詫び申し上げます。

(2014年12月9日)

【誤】

ページ	分類	重要度	薬剤名			Ccr > 50 mL/min	Ccr		PD (腹膜透析)	HD (血液透析)	透析性	禁忌	腎障害
			一般名	番号	商品名		10~50mL/min	Ccr < 10mL/min					
518	代謝拮抗剤	◎	テガフル・ギメラシル・オテラシルトカリウム	1058	ティーエスワン配合カプセル	80~150mg 分2, 28日クール	やや減量				不明	禁	

【正】

ページ	分類	重要度	薬剤名			Ccr > 50 mL/min	Ccr		PD (腹膜透析)	HD (血液透析)	透析性	禁忌	腎障害
			一般名	番号	商品名		10~50mL/min	Ccr < 10mL/min					
518	代謝拮抗剤	◎	テガフル・ギメラシル・オテラシルカリウム	1058	ティーエスワン配合カプセル・顆粒・OD錠	<p>Ccr ≥ 80mL/minでは通常、体表面積に合わせて1回40, 50, 60mgを初回基準量とし、1日2回、28日間連日経口投与し、その後14日間休薬する。これを1クールとして投与を繰り返す。</p> <p>80 > Ccr ≥ 60mL/minでは初回基準量より必要に応じて1段階減量、60 > Ccr ≥ 40mL/minでは原則として1段階減量、40 > Ccr ≥ 30mL/minでは原則として2段階減量する。Ccr 30mL/min未満は投与不可。</p> <p>減量方法: 40mg/回 → 休薬, 50mg/回 → 40mg/回 → 休薬, 60mg/回 → 50mg/回 → 40mg/回 → 休薬または腎機能に応じて20mgあるいは25mgに減量を考慮 (Cancer Chemother Pharmacol (2012) 70:783-789)</p>					○	禁	

日本腎臓病薬物療法学会ホームページ (<http://jsnp.kenkyuukai.jp/information/>) には、付録「腎機能低下時の主な薬剤投与量一覧」更新版(2014年5月現在;改訂38版)が掲載されていますのでご参照ください。